

令和5・6年度 リニア推進特別委員会の活動の方向性について（案）

リニア推進特別委員会は、「リニア中央新幹線の推進に関する諸課題について」を付議事件として、平成22年に設置したリニア推進対策特別委員会から継続的に調査研究に取り組んでいる。

令和4年度には、リニア駅周辺整備の土木実施設計が公表されるなど、飯田市内においてリニア中央新幹線の開業に向けた整備が着実に進むなかで、令和5・6年度のリニア推進特別委員会は、以下の項目を着眼点として調査研究に取り組むこととする。

1 駅周辺整備及びリニア関連事業の進捗状況の確認

令和5年度から土木工事の着工や建物設計の着手が予定されている。土木工事においては、駅前広場や駅周辺の道路整備が市民生活への影響を最大限配慮した安全で計画的な施工となっているか、また、建物設計においては、駅舎や周辺構造物が飯田市や南信州、長野県の玄関口としてふさわしい景観イメージや賑わいを創出するための機能、市内外への波及効果等について調査研究を進める。

2 リニア駅前広場の3つのプロジェクトの進捗状況の確認

上記1に関連し、リニア駅前広場をハード（施設や整備など）とソフト（使い方や維持管理など）の両面から検討を進めている3つのプロジェクト（「次世代インフラPJ」「トータルデザインPJ」「公民協働ブランドクリエイトPJ」）の進捗状況について調査研究を進める。

3 市民意見の収集・反映と市民への情報提供

リニア中央新幹線の整備工事が進むなかで、直接影響を受ける市民の声を丁寧に把握する必要がある。また、リニア整備後のまちの在り方等を広く市民等と共に描く必要があり、リニア関連事業を進めるにあたり、市の市民意見の収集や反映、適切な情報提供の状況について確認を行う。

4 リニア推進ロードマップの進捗状況の確認と議会による政策提言・提案の検証

毎年更新される「リニア推進ロードマップ」の各年度の進捗状況の確認を行う。また、議会が提出した「リニア駅周辺整備事業土木実施設計に対する政策提言」及び「リニア駅周辺整備を起点とした提案」の検証を行う。

5 その他

以下の取り組みを通じて、リニア推進特別委員会の円滑な運営と調査研究を進める。

- ・先進地の視察、研修
- ・市民意見の聴取
- ・中間駅及び周辺整備に関する関係自治体（市議会）との情報交換
- ・産業建設委員会との連携による監視機能の強化